

特集
Special

レポート
Report

インタビュー
Interview

エッセイ
Essay

レクチャー
Lecture

オピニオン
Opinion

TOP > [レクチャー](#) > [山下塾第8弾 大災害と危機管理](#) > [山下塾第8弾 大災害と危機管理 第6回講座 大規模倉庫火災](#)

山下塾第8弾 大災害と危機管理 (大災害から自己と組織を守る！)

山下 輝男

第6回講座 大規模倉庫火災

初めに

昨年(平成29年)2月16日に発生したアスクルロジパーク首都圏の倉庫火災は、12日後にやっと鎮火したことは、多くの人々に驚きをもたらしたことだろう。近年、大規模倉庫が増加しており、大規模倉庫火災についてその実相を知ることは、危機管理上必要だ。

ⅤG1 大規模倉庫の状況とアスクル倉庫火災の状況

スライドにある通り、近年大規模倉庫が急増しているようです。東京外環道路沿いに大規模倉庫があるとも聞いた。身近に大規模倉庫が有るかも知れない。

アスクル倉庫火災から危機管理を考えてみたいと思う。火災の概要と大規模倉庫の特性はスライドの通りである。一旦火災が起きますと、鎮圧・鎮火させるのは難しそうだ。



Ⅱ 3 大規模倉庫火災 (1)

概要

○5万㎡以上の大規模倉庫15年前の6倍、10年前の3倍に急増

○ アスクルロジパーク首都圏 物流拠点
H29/2/16 09時頃 発生 12日後に鎮火
4.5万㎡焼失(東京DM1個分) 被害額101億円
出火場所 1階北西部の廃棄段ボール置き場
フォークリフトが段ボール上で空回り→火災原因



○大規模倉庫の特性

- ①可燃物量大 ②防火区画:防火シャッターが多用
- ③スプリンクラー未設置



VG2 火災の実相

火災の実相を見てみたい。

Uチューブでご確認ください。 <https://youtu.be/IRryr3COYAO>



39

VG3 火災拡大原因

人的被害がなかったのは不幸中の幸いであるが、アスクル倉庫火災が拡大した原因として指摘されているのが、①～③である。
危機管理上の不手際があると思える。



大規模倉庫火災(2)

多数の人員が勤務中の大規模倉庫で、
人的被害なし
(避難誘導は適切に行われた)

火災拡大原因等

①防火シャッターに係る不備
6割超の78ヶ所
不稼働(感知器等の破損 & 物品が挟まれ作動せず)

②屋外消火栓による初期消火 操作ミス

③119番通報の遅れ(火災覚知から7分後)



40

VG4 対策について

防火対策及び消防活動の在り方に関する検討報告書が、昨年(平成29年)6月に公表された。

また、国交省は本年(平成30)3月にガイドラインを発出している。この報告書及びガイドラインの要点はスライドの通りである。

。



大規模倉庫火災(2) (続)

対策

初期火災の拡大防止

①防火シャッターの確実な作動

(電線のショートに因る被害防止対策、防火シャッターの閉鎖障害防止)

②事業者の初動対応 効果ある消防訓練の定期的実施等

より効果的な消火活動(消防本部事項除く)、事業者向け被害軽減措置に関するガイドラインの策定等

(防火対策及び消防活動のあり方に関する検討報告書 (平成29年6月から))

* ガイドライン((2018/3/27 国交省)

- ・ショート防止措置(耐性被膜等)、短絡影響局限化
- ・消防隊の内部進入有効措置、屋内消防活動支援措置



VG5 教訓

総務省消防庁は3つの教訓としてスライドのように列挙しているが、家庭や会社でも適用できるものと思う。



大規模倉庫火災(3) 教訓と対策

3つの教訓(総務省消防庁)

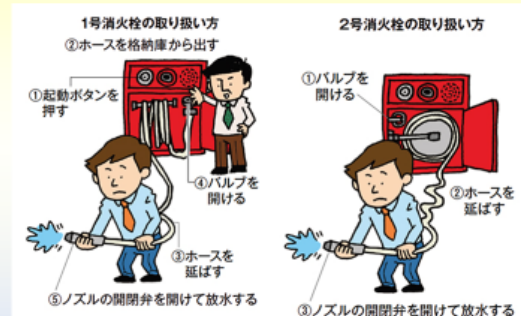
- 1 火災発見時は直ちに適切な通報
- 2 屋内消火栓設備又は屋外消火栓設備を用いた確実な初期消火
- 3 従業員全員が円滑に避難できることを確認する避難訓練

①大規模倉庫特有の避難の困難性 (避難ルート長く且つ複雑)

②要すれば、避難経路の見直し

③防火シャッターの下に物を置かない

感知器と防火シャッターの正常稼働の確認



42

第7回講座以降では、今までの大規模地震、水害、大規模火災における対処等通じて浮かび上がってきた危機管理上の要点について検討してみたい。

[INDEXへ戻る](#)

前の記事 [山下塾第8弾 大災害と危機管理 第5回講座 河川氾濫対応](#)

[ページの先頭へ](#)

[関連サイト](#)

[防衛省](#)

[統合幕僚監部](#)

[陸上自衛隊](#)

[海上自衛隊](#)

[航空自衛隊](#)